



『報リハ』1周年 リハビリテーション部 渡邊部長 インタビュー



1. 報リハは、当院と利用者さんや関係事業所や地域をつなぐ目的で発信していますが、この取り組みについてご意見をお聞かせください。

日々どのような活動をしているのか、何を目的として訪問リハ行っているのかなど本来、訪問リハに求められるものをしっかり伝えられれば良いのではないかと思います。

2. 報リハでは、訪問リハビリで行っているリハビリ内容の紹介やリハビリの成果についての報告と、作った作品などの掲載を行っていますが、他に掲載したほうがいいと思われることがあったら教えてください。

誰が見るのか、何を伝えたいか、何を知りたいか この3つの要素によって内容は変わるものだと思います。

3. 今後の報リハに寄せて一言お願いいたします。

よく笑うようになったと共に、在宅生活の中で具体的な変化をしっかりと伝えられるよう継続してください。

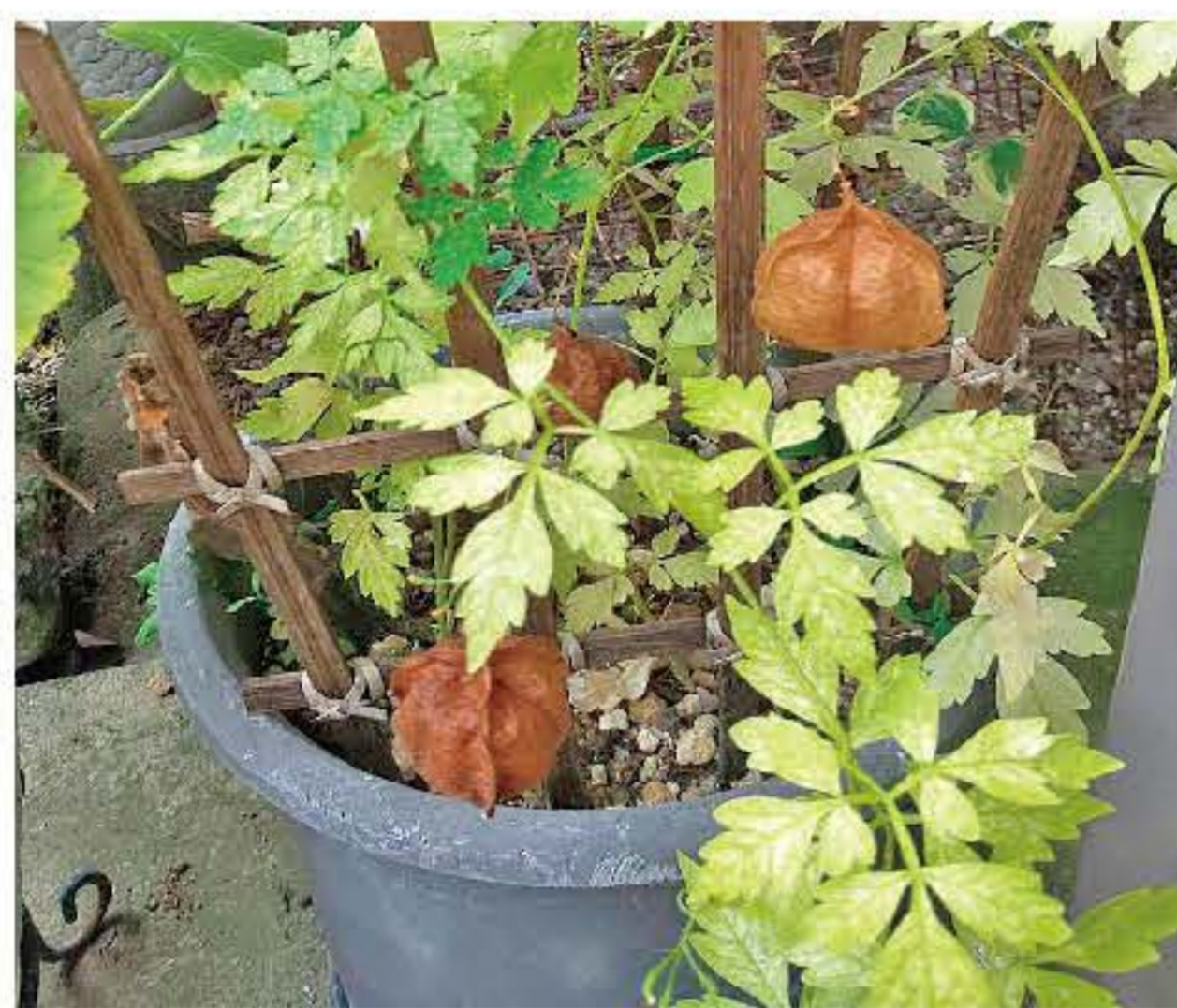
今後も訪問リハビリ利用者さんの「できた！！」を報告しつつ、訪問リハビリ・西部の病院のリハビリに関わる様々な情報をご紹介できるように、リハビリテーション部で一丸となり取り組んでいきます。

【報リハギャラリー】 訪問リハビリ中の写真

昨年、一人の利用者さんから頂いた種を利用者さん同士で共有しました！

～ みんなに届け！フウセンカズラリレー ～

【玄関先のおもてなし】



【コメント】

頂いた種を蒔きました。
来年はグリーンカーテン
を目指します。

【びっくり！！】



【コメント】

土によって成長がこんなにも
違いました。

【種】



【コメント】

種が沢山
とれました。

みなさんにも届くかもしれません！

【できた！！報告会】

デイサービスに行けるようになった！

～インタビュー～

No.10

他者との関わりが苦手なS.Y様、介護度4という認定を受けましたが、すぐにはホームヘルパーやデイサービスの利用が出来ませんでした。訪問リハビリ開始から1年5ヶ月で少しずつ他者との関わりに慣れ、また環境が整いできることが増えました。その結果、ホームヘルパーとデイサービスの利用が出来るようになりました。ケアマネジャーが中心となり訪問リハビリ、ホームヘルパー、通所サービス、福祉用具業者などのスタッフと協力することで自宅生活を支えています。

【ご本人様】
人様にお世話をしてもらうなんてとんでもない！
S.Y様 91歳 女性



【ご家族】
・91歳の母と2人暮らし
・母が歩けなくなってしまった
・トイレ、お風呂に困っている
・どうやって介護したらいいかわからない??
・母は人に介護してもらいことに抵抗あり



・介護保険の申請
・サービスの提案、調整

相談

ケアマネジャー

・他者との関りが苦手な方・定期的にお風呂に入れるように
・安全に暮らせるように ・ヘルパーやデイサービスを利用できるようにしていきたい



部屋で足浴からスタート！
風呂場で足浴を経てシャワー浴から浴槽で入浴が可能に！
訪問リハビリ医

訪問リハビリを依頼

診療
リハビリ方針決定



福祉用具レンタル、販売業者

手すりの設置
福祉用具の販売

訪問リハビリ開始

①環境設定

トイレ、脱衣所、浴槽の手すりの選定
シャワーチェアや椅子の設置などを提案



ホームヘルパー

入浴・清拭
トイレ誘導
着替えの介助

お風呂はおっくうだけど入ると気持ちいいのよね



【ケアマネジャーより】

平成31年2月、ポータブルトイレが欲しいと、息子さんが来訪状況がわからず、自宅に行くと、敷き布団に寝ていました。起き上がり、立ち上がりができず、トイレにもいけない様子。すぐに福祉用具・ベッド、ポータブルトイレの調整、区分変更（この時要介護1）手続きを行いました。翌月、西部総合病院・訪問リハビリテーション・ケア開始。日常生活動作はもちろんのこと、入浴動作訓練として、入浴も入れて頂き、人になれてきたところで、訪問介護に引き継ぎました。訪問リハビリスタッフの方、評価に入ってくくださったDrの粘り強い説得と息子さんの母に対する思いが、本人の気持ちを動かし、デイサービスに行くという行動を起こさせた結果が今にあると思います。

②入浴動作練習

環境が整い、入浴動作練習を開始
入浴動作と他者の介入に慣れたところで、ホームヘルパーに介助方法を伝達し引継ぐ

③筋力増強練習、可動域練習

筋力・体力が向上し、さらに活動性が向上。
自宅での生活が安定する

④玄関の出入り練習、屋外歩行練習

自宅内の生活が安定し、外出に向け練習開始
外に出ることが可能になる

**デイサービスの利用が可能となり
訪問リハビリ終了**

デイサービス
週2回



【ご家族様より】

1年半前、急に母が動けなくなりトイレ等が困難になりました。ケアマネジャーにお世話になり、福祉用具の設置やリハビリ、デイサービスの利用等で少しずつ動けるようになりました。朝嫌がっているデイサービスも帰ってくるとスッキリした顔になってます。入浴も気持ちよさそうですと担当者から言われてホッとしました。これからも元気になってくれるとよいです。

リハビリテーション部内役職者インタビュー

【質問1】なぜリハビリスタッフになろうと思ったのですか？

【質問3】この仕事をしていてよかったことは何ですか？

【質問5】あなたが理想とするリハビリスタッフとしての在り方を教えてください。

【質問6】これからのリハビリテーション部をどうしていきたいですか？どうなったらよいと思いますか？

※文字数の関係上割愛させて広報誌に掲載させて頂いております。続きが気になる方は当院ホームページをご覧ください。

【質問2】この仕事のやりがいは何ですか？

【質問4】院内リハと訪問リハの違いは何だと思えますか？

言語聴覚士 係長 杉田 好子



【質問1】

何か人と直接関わる仕事をしたいと思って
いたところ、学校の説明会でこういった仕事がある
ことを知って関心を持ちなりたいと思いました。

【質問2】

ご本人やご家族などと一緒に喜びを分かち合える
こと。

【質問6】

地域のみなさんに信頼してもらえる部になって
いけるよう努めていきたいと思っています。



作業療法士 係長 齋藤 浩



【質問1】

高齢化社会が進む中で需要が高まり幅広い分野
での活躍が期待される職業であるとの話を作業
療法士の方に伺ったのがきっかけです。そして、何
よりも人のために役立つ職業である事にとっても
魅力を感じたからです。

【質問2】

対象者のお一人おひとりの目標に向かって、チーム
で協力しながら援助をしていき、その人らしい生活
に戻れるように寄り添う中で一緒に喜びや苦しみ
を分かち合える事です。

【質問6】

時代の変化とともに、リハビリテーション専門職に
求められる役割は大きく変化をしています。当院
の基本理念にあります「地域の皆様と共存・発展し
喜びと幸せを共有」する事が出来るように、地域の
皆様のニーズにしっかり答え貢献できるリハ部と
していきたいと考えています。

理学療法士 主任 北村 孝嗣



【質問1】

高校生の時に野球で投手をやっていたのですが、
肘を故障してしまい病院に通ってリハビリを経験し
たのがキッカケでした。

【質問2】

怪我や病気等で患者様にとって絶望的な状況の中、
治療を受けつつリハビリをして少しずつ機能が回復
をしていく過程をみられる時はとてもやりがいを感じ
ます。必要とされる存在でいられるよう少しでも
サポート出来たらと常々思います。

【質問6】

地域の皆さんに信頼されるリハビリテーション部を
築いていけるようより一層多方面での連携力を高
めていければと思います。

理学療法士 主任 岡嶋 悠二



【質問1】

小さい頃よりサッカーをやっていて、スポーツに関
わる仕事に携わりたいと思っていました。そして、
祖母が入院した際にリハビリを行っている姿
を見て、この仕事を知るきっかけになり、リハビリ
を通して医療の道に進みたいと思いました。

【質問2】

患者さんに感謝されること。

【質問6】

当院の特徴として地域密着型の病院であり、地域
に根差した病院としてその特徴を生かしたリハビリ
テーションを提供していければかと思っています。

【報リハギャラリー】 訪問リハビリ中の写真 ～芸術の秋～

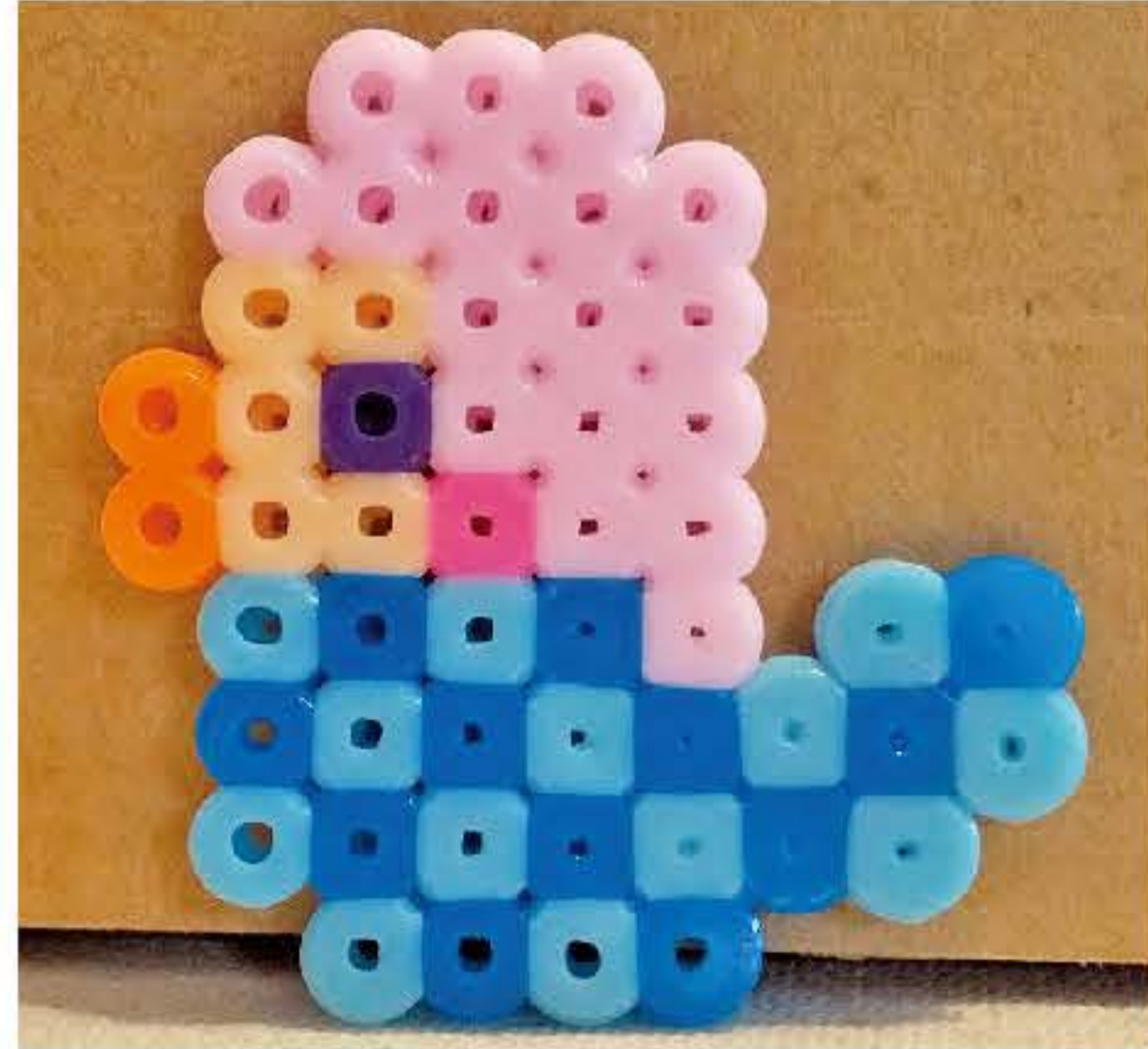
【 9月リース 】



【コメント】

朝晩は涼しくなりました。今年の十五夜は10月1日です。

【アイロンビーズアマビエ様】



【コメント】

コロナ撃退！！

【 10月リース 】



【コメント】

10月といえば、トンボ・ぶどう・秋桜みなさんは何を思い浮かべますか？

【 入れもの 】



【コメント】

きれいにしました

【 もみじ 】



【コメント】

こだわりは布を貼っています

【 折り紙細工 】



【コメント】

ニワトリと何に見えるでしょうか？

【報リハとは？】

西部総合病院リハビリテーション通信～みんなで作る広報誌～『報リハ』は、日々利用者さんやそのご家族が取り組んでいる事、興味がある事、悩んでいる事、リハビリに求めている事などを何でも、みんなで共有することで、在宅生活をより『明るく』『楽しく』送れるように多くの『できた!!』が集まるように盛り上げていければと思います。



西部総合病院



聖光会グループ

医療法人聖仁会



西部在宅ケアセンター

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保884
電話 048-854-1111 FAX 048-855-3285

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保830-1
電話 048-854-1188 FAX 048-840-3688